

製品名: PIM2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84410**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000, ICC 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 34 kDa ; Observed MW: 37 kDa

抗原情報

遺伝子名	PIM2
別名	PIM2; Pim2h;;PIM2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9P1W9
免疫原	ヒト PIM2 由来の合成ペプチド

背景

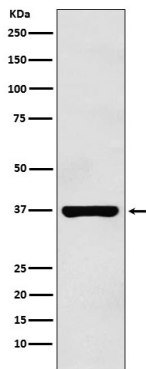
セリン / スレオニンキナーゼ活性を有するプロトオンコジーン。細胞の生存と増殖に関与する。MYC 転写活性の調節、細胞周期進行

の調節、キャップ依存性タンパク質翻訳の調節、そしてプロアポトーシスタンパク質である BAD のリン酸化による生存シグナル伝達を介して、その発癌活性を発揮する。MYC のリン酸化は MYC タンパク質の安定性を増大させ、ひいては転写活性を増大させる。

研究分野

-

画像データ



Raji 細胞溶解物中の PIM2 発現のウェスタン プロット分析。